



## 目次

海外酪農視察研修……………	2～5	女性部のページ……………	11
みらい塾終了式……………	6	別海高校だより……………	12～13
みらい塾入講式……………	7	農業者年金……………	14
青年部のページ……………	8～10	中春別給油所オープン……………	15

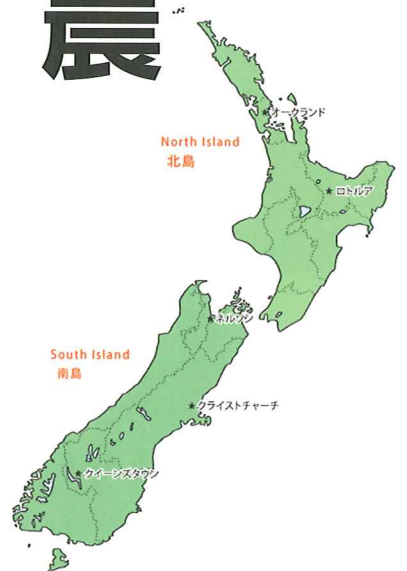
寒さの中、自分達の記録に打ち勝とうと全力でリンクを滑る子供たち。中春別小学校のスケート記録会取材しました。



1年を通し温暖な気候のため牧草が生長し乳牛を放牧

# 自然のままに飼育する

# ニュージーランドの酪農



11月16日～11月24日の9日間の日程で、根室管内参事会主催によるニュージーランド(以降NZ)・オーストラリア(以降AUS)への視察研修へ参加させていただきました。主な目的としては、根室酪農と海外酪農の違いや海外の酪農視察を行い直に実情を感じることで、今後の振興や発展を図るため実施されましたので、概要を2カ月以内にわたり報告します。

オークランド大学・フオンテラ本社・フオンテラ工場・フオンテラ加入酪農家2戸・パイオニア関連酪農家1戸・パイオニアメイズリサーチステーション・Gavins(ヤギ牧場及びトウモロコシ乾燥施設)・NZ市場調査を経て、空路オーストラリアへ渡り、卸売り市場(フレミントンマーケット)・グレンモア牧場・エキシリー農場とNZに5日間、AUSに2日間の滞在でした。

## ニュージーランド・オーストラリア 海外酪農視察研修



### ニュージーランド視察編

営農部営農振興課 相澤 幸司



オークランド大学でNZ酪農の講演をいただきました

### オークランド大学 乳製品の輸出世界ランキングトップ10

オークランド大学では、NZ酪農の基本を中心に、リステイナ・ストリング教授に講演をいただきました。ニュージーランドは1万人が自営業を営んでおり、2万4000人が農業に従事しています。農業への政策では、国の補助は一切なく全てが自己責任において営まれていきます。酪農では、生乳出荷量の97%が加工向けに向けられ、フレッシュミルクで取扱われるのは3%程度しかありません。ニュージーランドの輸出の25%が乳製品で占めており、世界の2～3%に

当たる量となっており、150以上の国へ輸出し主にヨーロッパ諸国・中国・日本・アメリカへ輸出しています。乳製品の輸出世界ランキングでもトップ10に入っています。

酪農の構造は、オーナーオペレーター・コントラクトミルカー・シェアミルカーと大きく3つに分けられます。



オークランド大学



オーナーオペレーターは、日本では言う農場主で牛と土地を持つている人間。コントラクトミルカーは、日本でも持つていない人間で、1年契約が多くニュージーランド自体の雇用契約が大体単年度契約となっています。シエアーミルカーは、牛を持つているが土地や施設などの資産を持つていなく、牛だけを持つている人間で、制度としては1800年代より始まっており、国の法律により2〜3年の契約と決まっています。大きく分けて2タイプあり0〜49%、50%の牛の割合となっており、シエアーミルカーの55%が50%の契約を結んでいる。50%の契約は3年間と決められています。農場としてはシエアーミルカーを導入することにより、牛の頭数が増え土地の有効活用が出来ます。シエアーミルカーは経済的に良くなることにより、最終的には農場取得が可能になります。また、親子間でシエアーミルカー制度を導入している場合もあります。実際の仕事の分担とし

ては、オーナーは経済的な部分や圃場・施設に関する作業でシエアーは牛群に関する部分を全般に行っています。また、金銭的な清算については四半期ごとに支払いが行われます。

酪農経済については、収支差額平均でいくと固形分で3・0〜3・5<sup>ポンド</sup>/kgで収入に対し経費が半分強となっています。償還の割合については固形分で1・0〜1・5<sup>ポンド</sup>/kgと少なくなっています。

環境問題に関しては、河川環境を中心に産業界・環境省・企業(フォンテラ他)が自発的にルールを作り(特

### フォンテラ社 ニュージーランド最大の乳業会社89%酪農家が加入



フォンテラ社

に罰則はなし)、2007年〜2012年の期間に徹底した指導を行いました。具体的には、圃場内の川・沼などに牧柵を設置し川には橋を架けて牛を渡すようにしました。対策を行うことで川や沼での糞尿の垂流しがなくなり、環境改善が出来ています。農家側は国の支援やフォンテラからの支援は一切なく、自己資金で対策を行いました。数点の改善目標を掲げていて個々の改善目標では若干のばらつきはあるものの、総体での達成率は90%強となっております。目標は達成されています。

### フォンテラ社

NZは主に3つの乳業メーカーがあり、最大手は酪農家の89%が加入しているフォンテラになります。生乳は乳量買いではなく、固形分(蛋白・脂肪)買いであり、生産される生乳の95%が乳製品として輸出されており、NZ総輸出の25%を占めています。ニュージーランド酪農は200年以上の歴史が



フォンテラ社で乳製品の説明と概要を聞きました

っています。株式についてはニュージーランド証券取引所に上場しており、ニュージーランドの代表的な銘柄となっています。また、シエアーホルダーとユニットホルダーの2種類の株に分かれており、シエアーホルダーは農場主しか買うことが出来なく、ユニットホルダーは一般人でも購入することが出来ます。

あり、輸入の始まりが1882年に冷蔵船がイギリスへ行ったのが始まり。現在は9社の乳業会社があり、フォンテラはニュージーランド最大の乳業会社です。酪農政策(補助金)については、初めはありましたが国の方針として打ち切られ、会社としての戦略を考えることになり、自由競争が始まりました。2001年7月に3つの酪農関係協同組合及び会社が合併し、国際競争力強化のためフォンテラを設立しました。協同組合方式を採用していますが、現在(2年前)のフォンテラは、日本の協同組合とは違い出資金ではなく株式発行を行

組合員数は1万5000人で、年間出荷乳量は220億リットル(内ニュージーランド国内が170億リットル)の集荷で、世界の3%に当たる量です。社員数は1万7500人(内ニュージーランドで1万人)が働いています。商品については、主に中東南アジア・南アメリカに輸出していますが昔はヨーロッパへの輸出が多く、乳製品を含め年間230万トンを生産し、良い牛乳を販売する grass to grass を(草からコップまで)を基本に事業展開をしています。フォンテラはオーストラリア・中国・スリランカーな





フォンテラ工場

## フォンテラ工場 全粉乳・プレミアム全粉乳を製造、 排水など環境に配慮し地域にも貢献

Waitoa工場は1990年バター工場として創業を開始。1954年に工場

でも牛乳を集めており、フォンテラが牧場を持っていません。中国では牧場に対して支援を行い、牛乳を集めており、主に内需向けで、約7%が輸出向けで販売しています。  
ニュージーランドは今後も年間2〜3%乳量が増加していく見込みで、農場の効

率を最大限良くして、牛も草も良くなることで実行可能と予測しています。販売戦略としては、健康会社と協力し商品開発を行ったり妊婦・授乳中の人向け商品の開発を行ったり、ファーストフードとの協力などで伸ばして行ける見込みです。

を大きくし1955年より新工場で稼働を開始し、日

量300トの処理可能となっています。従業員は500

人で主に全粉乳・プレミアム全粉乳を造っています。こ

この工場に運び込まれる生乳は牧草中心の飼養体系の

牧場が多く、基本的に毎日集荷で半径100kmの集荷

範囲で2500戸の農家から31台(内2台は非常用)の

フルトレーラーローリーで5〜6往復して集荷し、14℃以下で工場まで運んでい



荷します。緑の容器は農家用(固形分量検査)で、透明

がサンプル、赤が抗生物質検査用。現在、工場では処理

されている生乳は2300トで全粉乳150ト、子供用

粉ミルク180ト、乳幼児用プレミアム粉ミルク16ト

を造っています。フォンテラ社と契約をしている世界各

国の会社との品質基準を満たす商品を造っています。

全粉乳は主に東南アジアへ輸出しています。工場は10

月〜11月がフル稼働(機械メンテナンス含む)していますが、年間では12時間/日で4週間〜6週間休業します。休業時には機械メンテナンスを行っています。検査体制は107人の専属の従

業員がおり、風味・匂いなどの検査をISO17025の基準に則って行っています。環境に配慮し、工場内のボ

イラーの燃料は石炭を使用、排水については浄化施設を

整備しています。浄化施設については町の浄化施設も

兼ねており、地域に貢献し

ています。法律の基準を満

たす工場ではISO14001

に則って行っています。さら

には工場内にも目標を設定

し、不要な牛乳の減少や水質・土壌などへの負荷削減や地

域へのボランティア活動・植樹を会社として積極的に



フォンテラ社にて記念の撮影



## NZ酪農家視察

### ウエイン・ルーシーファーム

放牧型酪農で施設はミルクングパーラのみ、  
環境問題が厳しいため雑排水処理施設を設置

1937年に牧場が設立され現在の経営者ルーシー氏が4代目で、草地面積150ha、飼養頭数450頭(育成牛は別な牧場で飼養)、労働力はルーシー氏とシエアミルカー1人と従業員2人(内1人は季節雇用)で行っており、ルーシー氏の妻は街で別な仕事をしています。放牧型酪農で施設はミルクングパーラのみで、40頭ヘリパーラ・スイングパーラで2回/日搾乳で乳房炎は殆ど無いとのこと。環境問題が厳しいため雑排水処理施設が設置されており、パーラ排水と待機室の糞尿をタンクに入れてバッキして、スプリングクローラーにより圧そうして畑に散布しています。繁殖管理は季節分娩を行っており、6週間の中で70%が人工授精、30%が本交で行っています。放牧地は90牧区(1牧区1.5ha)に分かれており、17日間前後で90牧区を1周するロー



テーションで回しています。飼養管理は基本放牧草のみですが、デントコーンサイレージとグラスサイレージを一部作って冬期間に給与しています。給与方法はワゴンにサイレージを積んで、草地へダイレクトに散布して給与します。経営目標はミルクソリット1頭当たり350kg/年で、コストを掛けず得ること。

## NZ酪農家視察

### マクレナン・フィンレイファーム

放牧型酪農で施設はローターリーパーラ44ポイントのみ、もう1つ牧場を取得し育成牧場建設を希望



マクレナン・フィンレイファーム家のみなさんと

2012年に新規就農し、経営開始から18カ月経過しています。取得額は12億円で妻の両親とフィンレイ夫妻で取得しています。家族経営ですがシエアミルカーを導入しており親が80%、フィンレイ夫妻が20%の割合となっています。草地面積は177ha、飼養頭数は520頭(育成は預託・初生は牧場内)、労働力は本人、妻、常時雇用2人、子牛の管理に朝のみ1人で行っています。放牧型酪農で施設は

ローターリーパーラ44ポイントのみで、2回/日搾乳で乳房炎は殆どありません。また、この牧場でも雑排水処理は待機室の糞尿と合わせて、地下ピットのためにスプリングクローラーによって畑に散布しています。繁殖管理は季節分娩で90%人工授精、10%本交(種牛2頭)で行っています。飼養管理は放牧草15kg・補助飼料(パーム核粕・綿実・デントコーン)4kg(DM)で、草からの乾物摂取量が牧草生育の低下

する時期になっても、40%以上となるよう注意しています。放牧草生育低下シズンは、デントコーンを給与しコンディション調整をしています。放牧地は1000牧区(1牧区1.5ha)に18haに分かれており、1日に2牧区移動で朝晩の搾乳後に牧区を替えます。乳業会社はフォンテラを選んだ理由は、他の会社では通年出荷やその他規則が経営をするうえで障害になると感じた事が大きく、フォンテラは家族を含め理解があり、継続性があると考えたため選択をしました。今後の目標として、もう1つ牧場を取得し子牛から育成までの育成牧場を建設することを希望していました。





# 学んだことを経営に反映し、地域の農業を担うよう頑張りたい

担い手後継者を対象とし、今回、修了となる第5期は5人の受講生により1年間、全25回にわたって講座を実施し、農協運営事業をはじめ酪農技術や農業機械修理、また、視察を通して経営管理について学んできました。



## 第5期みらい塾修了式

各関係機関と関係を深める事を目的とし、根釧農業試験場、根室農業改良普及センター、北海道酪農検定検査協会根室事務所、雪印乳業なかしべつ工場、根室地区農業共済組合南部事業センターをメインに講師を依頼し、講座や現地研修を行いました。

当日はお世話になった関係機関の方々がご臨席の中、1年間の講義を終えた5人の修了生は、小湊保塾長より修了証書を受け取りました。塾長からは、「講師となつて頂いた関係機関の皆様には、改めて厚くお礼申し上げます。今後経営者になつていただく皆様には、この1年間で得た知識を活かして、日々変化を続ける酪農経営を理解しながら地域の核となるような人間になり、そして、地域の皆様と一体となつて将来の酪農を支える人物になつていただきたい」と挨拶をいただきました。

そして、将来は地域の核になるような人物になつて欲しい」とのお祝いの言葉をいただきました。

修了生を代表して豊原地区の増岡耕平さんから、「この1年間、みらい塾を通して農協の仕組みや酪農の基礎知識、技術的な事を学ぶ事ができました。講義の中では、実際に現場や農家さんへ視察に行く事も多く、新たに学ぶ事もたくさんあり、とても勉強になりました。視察研修や講師を受け入れていただいた皆さんありがとうございました。今後は、みらい塾で学んだ事を経営に活かして、地域の農業を担って行けるように頑張つて行きたいと思えます」と力強い挨拶がありました。

### 第5期みらい塾修了生を紹介



【中春別地区】  
さかもと まさし  
坂本 正志 (37歳)  
㈲伏見牧場 後継者



【美原地区】  
むなかた たくろう  
宗像 卓朗 (24歳)  
宗像宏充 後継者



【豊原地区】  
ますおか こうへい  
増岡 耕平 (20歳)  
増岡哲生 後継者



【豊原地区】  
たぐち こうき  
田口 皓基 (21歳)  
田口英治 後継者



【中春別地区】  
いとう しゅん  
内藤 俊 (24歳)  
内藤宏幸 後継者



人の出会いと縁を大切に、  
希望に満ちた1年にして欲しい

平成26年度  
第6期みらい塾入講式



第6期みらい塾入講式

みらい塾入講式



第6期生入講式に臨む（佐藤さん私事のため欠席しました）

第6期みらい塾  
入講生を紹介



【美原地区】  
はやし つねお  
林 恒雄 (25歳)  
林博之 後継者



【豊原地区】  
えんどう こうき  
遠藤 真紀 (22歳)  
遠藤均 後継者



【豊原地区】  
きはら なおき  
木原 直紀 (21歳)  
木原誠 後継者



【中春別地区】  
おの ようへい  
小野 陽平 (24歳)  
小野栄一 後継者



【美原地区】  
さとう かずゆき  
佐藤 一幸 (27歳)  
佐藤 信吉 後継者

塾長より式辞と根釧農業試験場草刈場長より「みらい塾での1年間を大切に、人と人との出会いとつながりを大切にして欲しい。そしてこの1年間を希望に満ちた年にして欲しい」との激励の言葉をいただき、第6期生を代表して豊原地区の遠藤真紀さんより、これからの意気込みを語って

いただきました。その後、6期生は昼食を挟み、団地センター研修室にてオリエンテーションを行い、館内営農部長から受講に当たっての心構えや、年間の講座内容についての説明を受けました。また、代表選出では美原地区の林恒雄さんが第6期生代表に決定しました。

第5期みらい塾修了式終了後、平成26年度みらい塾の入講式が行われ、新たに第6期生として学ぶ5人が紹介されました。



抱負を話す遠藤真紀さん



# 若い力と行動力を集結し、 難局を乗り越えよう



新年を迎え、農協より小湊代表理事組合長をはじめとする多くの来賓の方々、中春別酪農対策協議会より

J A 中春別青年部

新年会



新年の挨拶と今年1年の青年部の抱負を語る松井青年部長



西川会長のご出席をいただき、青年部新年会を1月15日(水)に北平系会館にて盛大に開催いたしました。開催にあたり松井青年部長、小湊代表理事組合長より新年のご挨拶をいただき、西川会長の乾杯の音頭で開会しました。

の部員同士やご出席いただいた来賓の方々の仕事の話、プライベートな話に華を咲かせ、終始賑やかな雰囲気でした。最後に兼松副青年部長の今年1年青年部活動をより活発になるように祈念し、一本締めにて新年会の幕は閉じました。



JA根室地区青協幹部研修を終えて

若い生産者の声を届け、  
貴重な酪農情勢と動向を知る



管内盟友とともに幹中央酪農会議へ研修



農林水産省前

毎年開催されており、JA根室地区青協幹部研修会が、管内盟友14人の参加のもと1月15〜17日において開催されました。当青年部からは小西監事が参加され、農林水産省生産局畜産部との意見交換会、参議院議員・野村哲郎氏への表敬訪問、(社)中央酪農会議への研修を行ってきました。

農水省若手職員と  
意見交換会

**1日目** 始めに農林水産省へ訪問し、生産局畜産部の方々と意見交換会をしてきました。そのなかで私たちがこれからの酪農経営で「こういう事業があつたらいいな」「この事業はこうしたら良いのではないか」など、若手ならではの意見交換ができました。その後、場所を移し、農水省若手職員との懇親会を開催し、若手同士仕事の話やプライベートな話まで話題が絶えず穏やかな懇親会となりました。

野村哲郎参議院議員から  
酪農情勢などが説明

**2日目** 午前中は、農林水産委員長・野村哲郎参議院議員へ表敬訪問し、忙しい中1時間ほどお時間をいただき、昨今の酪農情勢や現場の悩みなどについて意見交換させていただきました。その後、靖国神社へ参拝し、午後からは、(社)中央酪農会議へ研修を行い、担当者から牛乳・乳製品の需要供給状況の説明をいただきました。夜の懇親会では、伊藤良

孝衆参議院議員、政策担当秘書・繁本護氏に出席いただき、普段聞けない苦労話や経験談に華を咲かせました。

2泊3日と短い中での研修会でしたが、現場の生の声を届けられたこと、また議員をはじめ各担当者からの貴重な意見を聞くことができ、今後の酪農経営や青年部活動へ役立たせることができる貴重な体験ができました。また、夜には管内盟友との懇親会も開催され、日頃の仕事の話や青年部活動について熱く語り合うことができ、管内盟友との親睦も図ることができた研修会となりました。

(青年部監事・小西祐司)



野村哲郎参議院議員へ表敬訪問



# 言葉の意味、会話の大切さを学び コミュニケーションのコツを習得

青年部(松井和孝部長)では1月29日(水)、釧路市から認定コミュニケーションシヨントレーナー志村圭子氏を講師に招き、部員14人が参加の中、「コミュニケーション能力向上講習会」を開催いたしました。

始めに志村講師より、「言葉の持つ



志村講師から講義を受ける青年部のみなさん

## コミュニケーション能力向上講習会

意味・会話の大切さ」を講習していた  
だき、4、5人に分かれての自己紹介  
の方法や8、9人に分かれて見た目  
の良い面・悪い面を全員で話し合い、そ  
の意見を心を受け止め、今後に役立て  
るグループ討議などが開催されました。  
またセンスアップに向け、女性目線か



参加者の前に立ち、見た目での善し悪しを判断

らのデートにふさわしくない服装な  
どを発表していただくなど、有意義な  
講習会となりました。

青年部では、コミュニケーションによ  
る講習会は初の試みでありましたが、  
会話の大切さを学んだ事により、今後  
の営農活動はもとより、地域間交流や  
3月に事業計画しています異業種交  
流会に向けて、重要な講習会になった  
ことと思います。

# 自己ベスト更新を目指し、 リンクを全力で滑走!

## 中春別小学生スケート記録会

中春別小学校で1月29日  
(水)、スケート記録会が開催  
されました。当日は晴天に  
恵まれはしましたが、あい  
にくの強風で、記録を目指  
す生徒さんと応援に駆け付  
けた保護者の皆さんには、  
凍える寒さの中での開催と  
なりました。

1年生は200m、500  
m、1000mを2、6年生  
は500m、1000mを滑  
り、強風に負けずみなさん  
自己記録更新を目指し、全  
力で滑っていました。  
滑り終わった生徒さん  
は、保護者の皆さんが用意  
した温かいココアを飲み、冷  
えた体を温めました。  
強風の中、生徒も保護者  
の皆さんもお疲れさまでし  
た。

強風にも負けず全力で滑る  
子供たち





# 福をよぶ笑顔がはじけた新年会

## 女性部新年交流会



中春別農協女性部では、1月16日(休)別海町ポルシェにて新年交流会を開催いたしました。



テーブル対抗ミカンの早食い競争、ロー杯にして頑張ってます

今年もみんなの気持ちを一つに  
前向きに活動しましょう



来賓に農協小湊組合長をはじめ、大山常務、中春別酪農対策協議会から西川寛穂会長をお招きし、西川会長

の乾杯の音頭で交流会が始まりました。

出席者は互いに挨拶を交わし、テーブルに並ぶ食事を堪能しながら家族の話や地域の話題など、会話に花を咲かせておりました。

途中、テーブル対抗ミカンの早食い対決や、すき焼きセットやマッサージグッ



西川会長ご発声「乾杯!」で交流会が始まりました

ズが当たる値段当てゲーム、ビンゴ大会が始まり、来賓の方にも本気の早食い挑戦でいただき、限られた時間の中ではありましたが会場は終始笑い声の絶えることがなくお開きとなり、新年早々、参加者の笑顔でたくさんのお福を呼びこむことができました。



40頭のスイング式ヘリングボーンパーラーで行っています。放牧地の面積は親牛用200haと育成用200haで、カンタベリー地方では中規模クラスの経営だそうです。

## ② 実習内容

搾乳はいつも従業員（ワーカー）2人と、私の3人で行ってました。3人で2時間半ほどで搾乳が終わります。1日の乳量はピーク時で約1万kg。乳房炎罹患牛は常時10頭以内でした。

放牧酪農が盛んなニュージーランド、牛舎を持たず、牛は放牧地で1日のほとんどを過ごします。濃厚飼料は一切与えず、ライグラス種の生草のみ。その代り、低カルシウム対策として



カルシウム剤散布草地

粉末状のカルシウム剤を与えていたのですが、草の伸びている圃場に直接散布して草に付着した粉を食べさせる方法でした。牛が食べて草丈が短くなった圃場には肥料を撒きます。撒いてから約1週間で30cmほどまで回復します。草地更新は毎年6牧区を春と秋に分けて行い約4年で全牧区の更新が完了します。

南島の人工授精シーズンは10月の下旬からで、約5週間ですべての種付けを終えます。発情発見には、牛の背中に着けるヒートマウントディテクターを使用します。



人工授精

乾乳と分娩の期間を揃えるため、5週間のうちにとまらなかった牛は、自然交配させるか、それでも止まらない場合は淘汰の対象になります。

2カ月間、私の主な仕事は搾乳と日中作業で、いつもワーカーのシェーナさんの後ろをついて回っているいろいろな仕事を体験させてもらえました。

休日はクライストチャーチまで観光に連れて行ってもらい、大地震から2年たっても復興が進まない現状を教えてくださいました。

## 研修を終えて

我が家の草地管理に力を入れること、働く人間に負担がかからない経営方法を学ぶことがわたしの目標でした。それはこの研修で充分達成されたと思います。いつも圃場の草丈を気にしていたシェーナや、ワーカーの意見を取り入れ働きやすい環境づ

くりを心がけていたダニエル、それだけでも大きな収穫だと思いました。日本では学べない多くのことを学ぶことができ、とても充実していました。この研修に行かせていただいたすべての方々に感謝いたします。

【文責：寺内】

## ●【経営科】本校が東北北海道大会当番校

1月21日（火）、22日（水）に東北北海道学校農業クラブ連盟実績発表大会が別海高等学校で行われ、4発表が、本校代表として出場します。各班ともに冬休み返上で、提出資料の作成・整理や発表練習を行ってきました。

入賞したグループは、2月5日（水）、2月6日（木）に網走管内の美幌高等学校が当番でおこなう全道実績発表大会に出場する予定です。

【区分：食料・生産】「地域もびつくり新商品～笑顔をお届けます 別高加工班～」

飯塚 咲希、志渡 文汰、小林 大祐、横田 侑希

【区分：環境】「第2次西別川探検隊

～河川環境調査から別海の未来を探る～」

池田 遼祐、河原 勇次、室井 貴彰、山 幹太

【区分：文化・生活】「ベジたべ～る交流会part3 私たちの食育教室」

竹田 翔馬、奥山 綾奈、渡邊 健人、木村 弥夢

【区分：クラブ発表】「別高農ク革命 はじまりの一步」

田中 尚弥、伊藤 雄一、齋藤 涼太、井上 季音

## ●【経営科】現在の進路状況

今年度も卒業が近づいてきました。3年生の進路は、17人中15人が合格・内定を得ており、順調に決まっています（2人が受験中）。

今年の卒業生で酪農関係の進学はありませんが、茨城県にある食肉加工の専門学校や道内の福祉関係の専門学校に進む生徒が約半数。就職関係では機械整備や水産品加工業などに進む予定です。詳細は、次のとおりです（1月17日現在）。

【専門学校】

釧路専門学校(こども環境科)、釧路専門学校(介護環境科)2、札幌社会福祉専門学校、専門学校北海道リハビリテーション大学校、光塩学園調理製菓専門学校、竹岸食肉専門学校、アミューズメントメディア総合学院

【就職】

株式会社小泉機械店、渡邊清掃株式会社、有限会社柵木農場、有限会社山口車両、株式会社北海永徳、北海道エネルギー株式会社、株式会社北連物産

【文責：鈴木新】



# 北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

## ●【専攻科】ニュージーランド研修から帰国しました。

平成25年9月27日～12月1日までの65日間、専攻科2年生の門脇翔太君と栗野伊久美さんがニュージーランド研修に参加しました。以下はその報告です。

門脇君は、北島のケンブリッジという小さな町の郊外にあるマルカスさんの農場にお世話になりました。この農場は海拔200mのところであり、草地のほとんどは急な勾配の土地で、トラクターやバギーはもちろん、人でさえ登れないような斜面の草地もありました。家族構成はオーナー兼シェアミルクのマーカスさんのみ。犬、猫がおり、犬は牛追いのために飼っていました。豚と羊は食用として飼われていました。



NZのコントラクターの様子

### ① 経営概況

経営面積は140ha。土地は全て放牧地兼採草地として使われており、56のパドックに分けられています。搾乳牛は330頭、育成牛が156頭、NZでは中規模の農家です。牛はフリージアン種(ホルスタイン)とジャージー種、二つを掛け合わせたクロスを飼養していました。

常時放牧を行っており、草や牛の状態に応じてコーン、PKEといったサプリメントを給与していました。1日の乳量はピーク時で約7,000kgほどでした。

### ② 実習内容

私は主にマルカスさんと仕事をしており、朝はヤングカウのパドック管理、搾乳、人工授精、牛舎内清掃、削蹄。搾乳は5時から始まり、マネージャーが最初にヤングカウを搾り、後からオーナーと私でヤングカウをつれて合流して搾乳というパターンでした。その後朝食と休憩を挟み、11時から搾乳牛に給与する濃厚飼料の準備、パドック内の除草作業、軽く休憩をして、15時から午後の搾乳を始めていました。



NZのコントラクターの様子

### 研修を終えて

ニュージーランドの雰囲気はとても別海に似ていて、地元にいるのと勘違いすることも多々ありました。マルカスさんとは沢山笑い合いました。「close」と「go」を聞き間違えたり、昼と夜のパドックチェンジを間違えたりと失敗をしてもマルカスさんは「お前と居るとお笑いをやっているみたいだ」と笑っていました。



私と海老(クレイフィッシュ)

私は2カ月酪農の勉強をしてきました。そこでわかったことはNZもここ別海も酪農は何も変わらないということです。同じ牛乳を搾り加工してそれを口にかけているのだから。ならば何を学んだのかと問われたら、私は堂々と言える。素晴らしい人々に出会い、共に生活し、笑い合うことができた。このような貴重な体験をさせていただいた皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。

栗野さんは、南島のクライストチャーチの近くランギオラという町にあるダニエル・ヒギンボトムさんの農場に入りました。

### ① 経営概況

ここは「カンタベリー地方」と呼ばれ、土地が平坦で広く、冬は雪が少なく1年を通して温暖な気候なので、牧畜がとても盛んな地域です。ニュージーランドでは、牛の乾乳期間を冬に持つてくることで1か月の休暇を取る酪農家さんが大半です。年間のスケジュールは以下のとおりです。

冬	4～5月	乾乳開始
	6月	前頭乾乳
春	7～9月	分娩期間
夏	10～12月	乳量ピーク
秋	1～3月	入量減少

ダニエルさんの農場では乾乳期軟膏は使わず、自然乾乳を行っているそうです。

ダニエルさん一家は奥さんと子供が6人の大家族で、家にはいる6人の子供のほかにも4人学校の寮に入っている子供たちがいます。



ダニエルと長男

搾乳牛530頭を飼養し、朝夕の2回搾乳を片側



# 農業者年金には公的年金ならではの 税制上の優遇措置があります

支払った保険料は、全額(年額12万円～80万4千円)が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税(支払った保険料の15～30%程度)につながります(民間の個人年金の場合は、控除額の上限は5万円(平成24年1月1日以降の保険契約については4万円)です)。

また、保険料などの年金資産の運用益は非課税です。

さらに、将来受け取る農業者年金は、公的年金等控除の対象となり、65歳以上の方であれば、公的年金等の合計額が120万円までは全額非課税となります。



## 保険料支払いによる節税効果の試算

所得税・住民税

税率	保険料の額が		
	月額2万円 (年額24万円)の場合	月額5万円 (年額60万円)の場合	月額6.7万円 (年額80.4万円)の場合
15%の場合	36,000円	90,000円	120,600円
20%の場合	48,000円	120,000円	160,800円
30%の場合	72,000円	180,000円	241,200円

※各欄の金額が節税効果で、保険料支払い後も適用される税率に変動がないものとして試算しています。

## 付利準備金による補てん措置

厳しい運用環境の年度があっても、65歳の年金裁定時に、付利の種類が、できるだけマイナスとならないようにするため、付利準備金による補てん措置が用意されています。

具体的には、右の対策が取られています。

①付利準備金は、65歳の年金裁定時に付利累計額がマイナスとなる者のマイナス相当額を補うため等に使われます。

②付利準備金の使用にあたっては、①の使途が優先されます。

※なお、加入者本人の意思により65歳になる前に年金裁定を繰り上げて受給する場合は、本対策の対象にはなりません。

つまり、65歳の年金裁定時に、万が一マイナスが生じた場合、優先的に、付利準備金から、マイナス分を可能な限り補う対策がとられます。



中春別給油所グランドオープンセレモニー  
が12月21日執り行われました。



セルフ式・自動洗車機を設置

# 12/21 中春別給油所グランドオープン

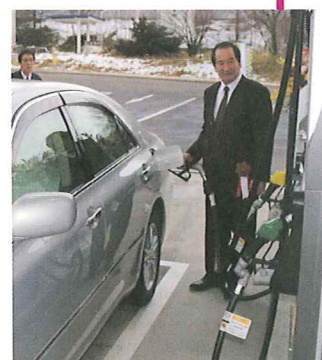
セレモニーでは農協役員、ホクレン中標津支所長をはじめ工事関係者が出席し完成を祝い、来店者には紅白まんじゅうや洗車カードがプレゼントされました。

地域高規格道路整備事業により既存給油所が移転対象物件に指定され、合わせて根室中部農業開発事務所移転による土地活用方法、農業共済組合中春別診療センターの移転による施設譲渡など農協周辺の土地施設活用について検討委員会を設置し、構想を練り上げました。

25年7月より給油所の建設と合わせ敷地内道路整備が始まり、12月20日に施設の引き渡しを受け、グランドオープンを迎えました。

給油所整備では、計量機2機を設置し1機はスタップ給油、1機はセルフ式給油を取り入れ自動洗車機も設置、また農作業繁忙期の軽油配送の迅速化を図るため備蓄施設についても整備されました。

営業時間も延長し日曜祭日についても営業を行いますので、皆様のご来店をお待ちしております。



セルフで実際に給油する小湊組合長

## 12月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支乳	前同	年差
乳脂肪分		806.259		32.43	32.50	-0.07
無脂乳固形分		508.711		44.83	44.44	0.39
補給金		4.7313		4.73	4.94	-0.21
計画チーズ奨励金						
乳質単価	生菌数	ランク1	2	304,720,373.8kg	3.74	3.71
		ランク2	0	5,737,755.2kg		
		ランク3	-3	117,166.8kg		
	体細胞数	ランク1	2	268,086,368.1kg		
		ランク2	1	22,870,537.0kg		
		ランク3	-2	3,567,867.6kg		
合計				85.73	85.59	0.14

## 12月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg) %
乳脂肪分①	32円43銭
無脂乳固形分②	44円83銭
補給金③	4円73銭
チーズ奨励金④	
脂肪率	全道 4.02%
	農協 4.06%
無脂固形分率	全道 8.81%
	農協 8.77%
成分乳価	全道 81円99銭
①+②+③+④=⑤	農協 82円08銭
乳質乳価	全道 3円74銭
⑥	農協 3円72銭
乳代合計	全道 85円73銭
	農協 85円80銭
⑤+⑥	差異 7銭





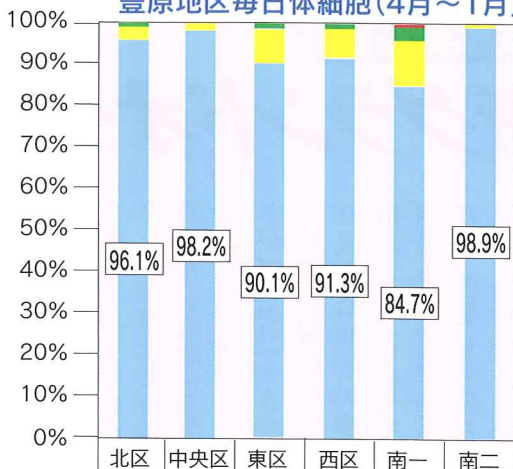
生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故…………… JA中春別発生件数 6件 管内合計では15件です。
- 生菌による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では1件です。
- 異物混入、加水による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内合計では1件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 血乳による汚染事故…………… JA中春別発生件数 1件 管内合計では1件です。

抗生物質汚染事故防止！

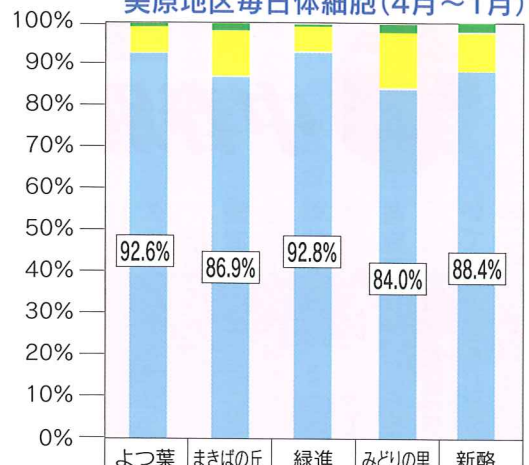
バルク乳抗生物質残留検査キット(βラクタム系)を全戸に配布致します。  
出荷前に検査を行ってもらい、ローリーへの混入防止、安全、安心な原乳  
出荷にご協力願います(取扱い説明会とキット配布を2月18日実施致します)

豊原地区毎身体細胞(4月~1月)



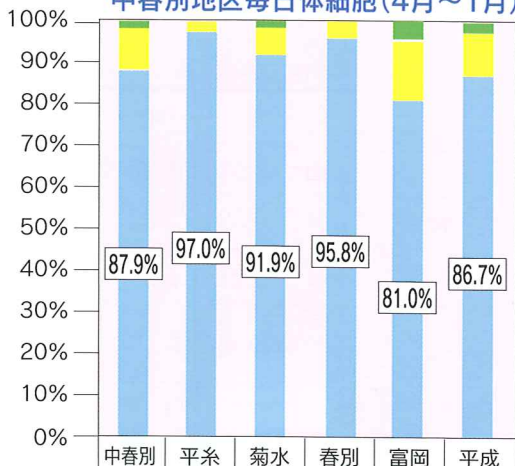
50.5万以上	0.2%	0.0%	0.4%	0.6%	1.1%	0.1%
40.5~50.4	0.5%	0.1%	1.5%	1.2%	3.2%	0.0%
30.5~40.4	3.2%	1.7%	8.0%	6.9%	11.0%	1.0%
30.4万以下	96.1%	98.2%	90.1%	91.3%	84.7%	98.9%

美原地区毎身体細胞(4月~1月)



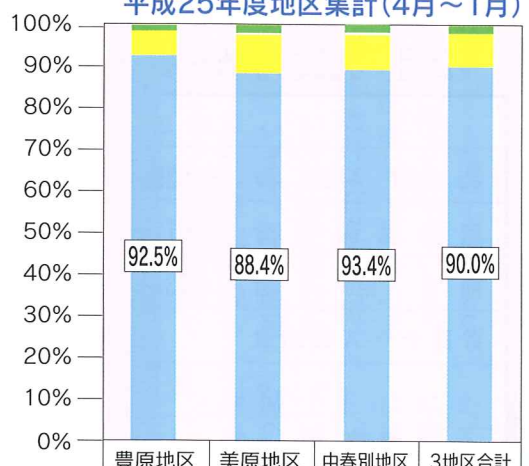
50.5万以上	0.2%	0.4%	0.2%	0.3%	0.6%
40.5~50.4	0.9%	1.9%	1.0%	2.4%	1.7%
30.5~40.4	6.3%	10.8%	6.0%	13.3%	9.3%
30.4万以下	92.6%	86.9%	92.8%	84.0%	88.4%

中春別地区毎身体細胞(4月~1月)



50.5万以上	0.5%	0.2%	0.3%	0.1%	0.9%	0.8%
40.5~50.4	1.6%	0.5%	1.3%	0.0%	3.7%	2.2%
30.5~40.4	10.0%	2.3%	6.5%	4.1%	14.4%	10.3%
30.4万以下	87.9%	97.0%	91.9%	95.8%	81.0%	86.7%

平成25年度地区集計(4月~1月)



50.5万以上	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%
40.5~50.4	1.2%	1.7%	1.8%	1.6%
30.5~40.4	5.9%	9.5%	8.3%	8.0%
30.4万以下	92.5%	88.4%	89.4%	90.0%



## 議案

1. 出資金の減口・譲渡及び組合員資格の変動について
2. 北海道常例検査に伴う指摘事項改善状況等の回答について
3. 反社会的勢力等への対応に係る関係諸規程等の一部改正について
4. コンプライアンスマニュアルの一部改正について
5. 生活クラブ連合援農体験の実施について
6. 平成25営農年度良質乳生産乳用牛確保維持対策事業及び育成牛維持確保対策事業に伴う資金貸付について
7. 平成25営農年度経営改善維持資金の貸付について
8. 平成25営農年度クミカン精算及び貯金取引精算に係る資金貸付について
9. 営農貯金特例流動について
10. 平成25営農年度クミカン取引に係る貸越極度額及び供給限度額の変更について
11. 平成26営農年度機械利用組合クミカン取引計画に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
12. 平成26営農年度クミカン取引計画に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
13. 平成26営農年度クミカン暫定取引について

## 報告事項

1. 組合員加入について
2. (社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
3. 拠点現金等取扱事務要領の改訂について
4. 平成25年度11月末営農生産関連実績について
5. 平成25年度集荷路線除雪について
6. 固定資産の取得について
7. 平成25年度みらい塾修了式並びに平成26年度開講式の開式について
8. 良質乳生産乳用牛確保維持対策事業及び育成牛維持確保対策事業の希望状況について
9. 別海町畜産環境に関する条例(仮称)について

## 協議事項

1. 別海町家畜ふん尿メタン発酵バイオガスプラント事業の取決め事項について

## 議案

1. 良質乳生産乳用牛確保維持対策事業に係る資金貸付について
2. 平成25営農年度クミカン精算に係る資金貸付について
3. 営農貯金特例流動について
4. 平成26営農年度クミカン取引計画に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
5. 平成26営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
6. 平成26営農年度特定指導組合員及び月別限度管理組合員(案)について

## 報告事項

1. 組合員加入について
2. 組合員脱退について
3. 平成25年度12月末財務状況について
4. 平成25年度12月末購買事業実績について
5. 根室管内JA合同年末貯金キャンペーン・JAバンク2013ラストWチャンスキャンペーン実績について
6. 平成25年度12月末営農生産関連実績について
7. 平成25営農年度クミカン精算状況について
8. 平成26営農年度階層区分について
9. 生乳抗菌性物質簡易検査キットの全戸配布について
10. 生乳抗菌性物質汚染事故に対する生乳補償互助金の支払について

## 協議事項

1. 別海バイオガスプラント事業に係る要望について





## 楽しい家族と一緒に

### (有)ギガファームさんのゴンタくん

雑種 ♂

中春別地区・(有)ギガファーム

#### ★飼い始めたきっかけ

ゴンタのおばあちゃんがビーグルで、家に迷いんできたのが飼い始めたきっかけです。三代続いてゴンタが生まれ現在家で可愛がられているわんこです。

#### ★名前の由来

いつしかゴンタとなっていました！

#### ★好きなこと(もの)はなんですか？

工具や部品を置いていともっていかれ、遊んでそのままにされるので物がよくなります。リンゴが好きだったり、従業員さんにパンをもらって嬉しそうに食べています。

#### ★PR

牛に吠えて牛追いを邪魔してきます。たまに追ってくることもあるので、お手伝いをしてくれているのかもしれない！

### 編集後記

▼ 冬の寒さがピークを迎え、北海道の各地では冬まつりが開催されました。今年は比較的雪が少ないですが、雪をかき集めて作った雪像が祭りを盛り上げてくれそうですね。今年はどうのような雪像がならぶのか楽しみです。

▼ 今年も1カ月半が経ち、新年会シーズンも過ぎたころ。皆さまの体調はどうですか？仕事や農作業でも夏に比べると外に出る時間が少なく、運動量も不足がち。JAでは毎年、年1回の巡回ドックを2日間で行っていますが、厚生病院に向いのドックも随時募集しております。病院のドックのオプションでは、脳ドックや動脈硬化検査、婦人科健診など気になる健診をオプションで受けることができます。お勧めです。弟子屈や釧路など日帰りで受けられる病院もございますので、是非受診されてみてはいかがでしょうか？（お問い合わせ ☎ 76-2241 営農振興課まで）  
まだまだ、寒い日が続きますので体調管理を徹底し、元気で過ごしてください。